

ZANDEN Model 120 の展開(40) ーベートーヴェン全集を聴く(40)ー

1. 始めに

前報(39)に引き続き、ベートーヴェン全集を集中的に聴いていきます。

2. Model 120 設定条件の試聴方法

カートリッジは、My Sonic Signature Gold で、接続に関しては、ZANDEN Model 120 の活用(33)同様、下記のとおりとします。すなわち、アンバランス／バランス変換プラグを用いて BACU-2000 経由で Model120 にバランス入力し、アンプは Langevin 6V6pp を使用しています。

今回も P&G のフェーダーに替えてパッシブアテネーターの TruPhase を使用し、RCA 入力→RCA 出力とします。なお、AACU-1000 は TruPhase の入力側と出力側にセットします。

LINN LP-12→(フォノケーブル)→(アンバランス／バランス変換プラグ)→
(BACU-2000) →Model120(バランス入力端子→アンバランス出力端子)→(アン
バランスケーブル)→(AACU-1000)→TruPhase→(AACU-1000)→(アンバラ
ンスケーブル)→Langevin 6V6pp

なお、LINN LP-12 の再構成(22)で報告しましたように LP-12 の電源を交換し、外付けとしています。

音源としては、ベートーヴェンのミサ曲を聴いていきます。これらは、Y 氏から頂戴したものです。

ドイツグラモフォン MG9554

ミサ曲ハ長調

カール・リヒター指揮ミュンヘンバッハ管弦楽団

3. Model 120 設定条件の試聴結果

Model 120 の設定は、前報(1)と同じく、TELDEC の逆相、第 4 時定数は Mid で聴いていきます。

前報(39)と同様、ミサ曲ですが、リヒター指揮ミュンヘンバッハ管弦楽団は、その名のとおり、バッハの宗教曲を専門とするだけあって、カラヤンの荘厳ミサ曲と違い、極めて宗教曲らしいオーソドックスな演奏です。宗教曲らしく抑制を効かせながらも宗教的な陶醉を盛り上げるところは、そのような盛り上がりを見せてくれます。ソリストは前面に出ており、明晰な歌声を聴かせています。

4. まとめ

今回も、アナログアキュライザーを **TruPhase** の入力側と出力側にセットしたことにより、上記の曲の演奏のニュアンスがよく表現できるようになりました。

以上